

共生 平和教育



小学校高学年

中学校

高校

総合

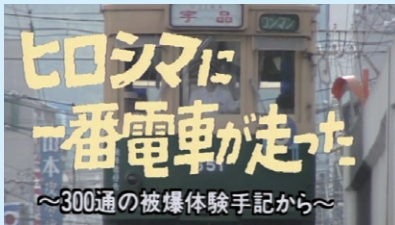
NHKスペシャル

55分

ヒロシマに一番電車が走った ～300通の被爆体験手記から～

(1993年放送)

この番組の良さ



生き続けた被爆者の証言ドキュメント

広島に投下された1発の原子爆弾は、人類がかつて経験したことのない悲惨な状況を引き起こした。かけがえのない肉親を失い、絶望の淵をさまよいながら、それでも人々は生きようとした。被爆しながらも生き抜いた人々の手記と証言を通して、原爆の悲惨さを知り、戦争について考えるきっかけとなります。

アニメと被爆者の証言の2部構成

この番組は、前半は車掌の少女の物語をアニメーションで、後半は被爆者4人の証言という構成となっています。前半の物語を通して、被爆後の少女の心の変化を感じ取り、後半の証言では4人の被爆者が、その後どのような人生を送ってきたのかを本人の言葉を通して知ることができます。

今なお心に深く刻まれている戦争の爪跡について考えるきっかけとなります。

番組活用のポイント

必死で生きようとする人々を乗せて、焼け跡の街を電車は走った

昭和20年、広島は1発の原子爆弾によって10数万という多くの人々の命とともに壊滅した。

当時16歳で路面電車の車掌をしていた堀本春野さんは、原爆投下から3日後、復旧したばかりの電車に乗務した。原爆によって母親、友人を失った彼女にとって、壊滅した街へと向かう電車に乗ることは心が重く、地獄へと向かう心境であった。しかし必死で生きようとする人々の姿を見ることで、いつまでも下を向くのではなく、上を向いて生きていこうという心境へと変わっていく。彼女の気持の変化をとらえることによって、原爆投下後の人々の立ち上がっていく姿を感じ取ることができます。

深い悲しみの中で必死に生き抜いた4人の被爆者

原爆で家族を失い、自らも全身に大火傷を負った吉田政野さん。自分の体が弱っていくのを感じながら、「もう死んでもいい」と思ったが、疎開先に残した2人の子どもを思い起こし、「生きなければならない」と切実に願った。

1人息子の生死が分からないまま、今も思い続ける法貴ミハルさん。

「あきらめますけど、息子を思わない日はない」と深い胸の内を語った。

家族全員が被爆し、原爆症と闘い生き抜いた藤井八枝さん。被爆によって、顔に重い傷が残っても周囲への思いやりを忘れず、原爆症に負けないで生き抜いた姉のことを語ります。

11歳の時に被爆し、家族全員を失った松本政夫さん。「私だけ生き残って本当に辛い」と家族への思いを胸に秘め、懸命に生きてきたことを語ります。

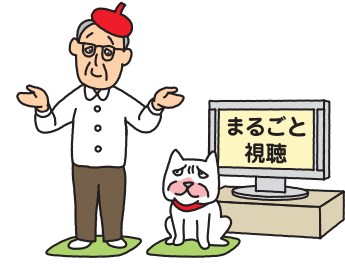
被爆者の証言を聞き、被爆後どのように生きてきたかを知ることで、平和の大切さ、生きることの大切さについて深く考えることができます。

(名嘉原安志)

学習展開例

授業時間 80分

原爆により広島市の街は壊滅した それでも人々は生き続けた



時間配分	学習活動	教師の支援
10分	①広島に投下された原爆について、知っていることを話し合い、知識を共有する。	<ul style="list-style-type: none"> ○できるだけ多くの発言が出てくるようにする。 ○広島に行ったことのある生徒がいたら路面電車や原爆ドームなど見たことを話してもらおう。
55分	②番組を視聴しながら考える。 <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%;">  <p>視聴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦地に赴いた男性の代わりに、約300人の少女たちが学びながら路面電車の車掌として働いていた。 </div> <div style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> ○感じたことや考えたことをメモするよう指示する。 ○戦時中の社会情勢について把握できるよう支援する。 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%;">  <ul style="list-style-type: none"> ・原爆投下後、壊滅した市街地を見て愕然とする。 </div> <div style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> ○壊滅した街を見て、「少女はどのように思ったか」ということについて考えさせるようにする。 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%;">  <ul style="list-style-type: none"> ・電車の鐘の音を聞いて、電車に乗ろうと集まってきた人々の表情によって明るい気持ちへと変わっていく。 </div> <div style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> ○復旧後電車に乗りたくないと言っていた少女が、「また電車に乗りたいと気持ちが変わったのはなぜか」など少女の心境の変化を感じ取らせるようにする。 </div> </div>	
	③4人の証言を聞きながら考える。 <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%;">  <ul style="list-style-type: none"> ・原爆で家族を失い、本人も大火傷を負った吉田さん。 ・残された2人の子どものために「生きなければならぬ」と切に願った。 </div> <div style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> ○それぞれの証言について、感じたこと、心に残った言葉をメモするよう指示する。 ○「私は生きなければいけない」、「神様、私を生かして下さい」と切に願った吉田さんの気持ちを考えさせるようにする。 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%;">  <ul style="list-style-type: none"> ・原爆投下後、1人息子の生死が分からないまま現在まで生きてきた法貴さん。 ・今でも息子のことが頭に浮かぶ。 </div> <div style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> ○息子の生死が分からないまま現在まで生きてきた法貴さんの胸の内について考えさせるようにする。 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%;">  <ul style="list-style-type: none"> ・家族全員が被爆し原爆症と闘ってきた藤井さん。 ・重症を負って辛いはずなのに、人への思いやりを忘れず原爆症と闘った姉のことを思い出す。 </div> <div style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> ○藤井さんの姉は、原爆によって辛い思いをしてきたはずであるが、常に人への思いやりを忘れず、気持ちがめげることなく戦後を生きてきた。彼女の行動について考えさせるようにする。 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%;">  <ul style="list-style-type: none"> ・原爆によって家族を失い、その後一人で生きてきた松本さん。 ・家族の分まで日々を大切に生きなければならぬと語る。 </div> <div style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> ○戦後1人で生きてきた松本さんが、「私だけ生き残って本当に辛い」それでも「生きてよかった」「生かされてよかった」と語ったことについて、どのような気持ちで生きてきたのかを考えさせる。 </div> </div>	
15分	④今日の学習の振り返りを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ○被爆者が深い悲しみを胸に秘めて戦後を生き抜いてきたことを感じ取らせながら、自分の生き方についても考えさせるようにする。